

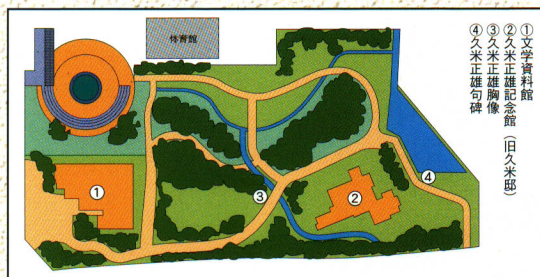
# 行ってみよう『こおりやま文学の森』

## 【リサーチ】

### 1. 『こおりやま文学の森』はどんなところ？

#### (1) 『こおりやま文学の森』をながめてみよう。

郡山駅前からバスに乗って約15分、郡山総合体育館前で下車すると、郡山文学の森に行くことができる。この場所は、開拓の中心であり、当時を振り返って、『文学の森』という名前が付けられたんだ。



▲こおりやま文学の森 概要図

#### (2) 『文学資料館』はどんなところだろう。

『文学資料館』には、郡山市にゆかりのある作家を資料を展示する部屋がある。また、パソコンでは、クイズなどを楽しむこともできる。ぜひ一度、館内にあるたくさんの資料を見てみよう。

#### (3) 『文学資料館』に展示してある作家を調べてみよう。

久米正雄、宮本百合子を始めとして、郡山市にゆかりのある9人の作家の資料が展示してある。9人の作家について調べたり、作品を読んだりしてみよう。

作家名	主な作品	作家名	主な作品
久米 正雄	『学生時代』、『螢草』、『破船』等	諏訪 三郎	『大地の朝』、『家』等
宮本百合子	『貧しき人々』、『伸子』、『播州平野』等	中山 義秀	『厚物咲』、『残照』、『七色の花』等
石井 研堂	『明治事物起原』、『中浜万次郎』等	真船 豊	『鼈』、『山参道』、『白魚』等
高山 樗牛	『滝口入道』等	東野辺 薫	『和紙』、『国土』等
鈴木善太郎	モルナール『リリオム』翻訳 等		

#### (4) 『久米正雄記念館』を見学しよう。

『久米正雄記念館』は、鎌倉で久米正雄が住んでいた家を開成山に移したものだ。ここには、大正、昭和時代を代表する多くの作家達が集まっていた。作家、久米正雄の生活の様子を味わってみよう。



▲久米正雄記念館 (久米邸)

### 2. 地域に残る文学の跡を探してみよう

郡山市には、たくさんの文学碑が残っていて、郡山市の豊かな風土が育てた作家の活動を称えている。近くにある文学碑などを探してみよう。

## 【フィールドワーク】

- こおりやま文学の森資料館 豊田町3番5号 TEL991-9610・FAX991-7620  
10:00~17:00 ★休館日：毎週月曜日、月末、年末年始(12/28~1/4)  
バス：「総合体育館前」下車、徒歩1分 ★中学生以下は観覧料無料
- 『貧しい人々の群』が刻まれた宮本百合子文学碑 開成山公園
- その他、市内には多数文学碑がある。